

# 問われるものは

—2015市議選を前に

4

## 求められる基本理念

とめ、市などが約400区間で実現させ

世界会議に先立ち、るのが目的だ。市職員らようアドバイスして  
市は昨年6月、市役所と、NPO法人の支援している。世界会議が終わ  
2階に「ESD市民生活活動に取り組んできた」今、ESD以外の  
動推進センター」を開 岡山NPOセンター 分野にも力を入れる。  
設した。NPO法人な（北区表町）のスタッフ 市民団体の提案事業  
ど市民団体をESD活 が駐在し、市民や行政 を市が補助金で支援す  
動の担い手として育て と連携した活動ができる「市民協働推進モデ

「子どもたちの提案  
が実現した。ESD  
（持続可能な開発の  
ための教育）が体現さ  
れた事例だ」。18日、  
県総合グラウンド（岡  
山市北区いずみ町）の  
クラブハウスで、大森  
雅夫市長がこう語っ  
た。

国土交通省の「手づ  
くり郷土賞」の表彰  
式。受賞したのは同グ  
ラウンド南側に昨年完  
成した「緑と水の道」  
だ。せせらぎが心地よ  
い「観音寺用水」に  
沿った市道に歩道が  
延び、水辺に下りやす  
い雁木も取り付けられ  
ている。ESD活動に  
取り組む京山中学校  
（同津島京町）の生  
徒が2007年に提案  
したのをきっかけに、  
住民が整備構想をま

### 市民協働

公的支援で信頼  
た。

市内では昨年10、11  
月に「ESDに関する  
ユネスコ世界会議」が  
開かれた。97カ国・地  
域から約3千人が訪  
れ、その案内役、通訳  
などとして市民ボラン  
ティア約260人が活  
躍した。市ESD世界  
会議推進局の安田充年  
審議監は「ボランティア  
アとして多くの市民が  
力を発揮したことが世  
界会議の成果の一つ。  
今後に生かしていかな  
ければ」と話す。



「事業」も14年度にス  
タート。10件を採択し、  
15年度も12件の応募が  
寄せられている。  
14年度の10件の一つ  
で、子育て中の主婦向  
けに就労につながるビ  
ジネスマナーやパソコ  
ンの業務実習などの講  
座を開いたNPO法人  
・輝くママ支援ネット  
ワークぱらママの藤井  
子育て中の主婦の就労支援  
講座を開いたNPO法人の  
藤井代表理事（右から2人  
目）と修生。市の支援で  
講座の完成度が高まったと  
いう……

#### 市・NPO協働推進協議会の提案項目

- 市民協働事業に取り組む理念や具体的手順を定めた市の条例、ルールづくり
- 市と市民団体のマッチングや相談対応に当たる組織の設置
- 市民活動を担うリーダーの育成
- 社会的な課題について官民で解決策を考える場の創設
- 市民協働の在り方を総合的に考える委員会の新設

## ESDの成果生かせ

弥生代表理事(41)＝中区が、公益団体に市の土地  
平井＝「公的支援があ や建物を無償で貸した  
ることで講座の信頼度が増した。市の担当者から  
増した。市の担当者から する施策を盛り込んでい  
広い視野で意見を聞け、 るにすぎない。市内のN  
内容の完成度も高くなっ PO法人メンバーでつく  
た」と振り返る。 る「市・NPO協働推進  
協議会」も昨年4月、市

#### 低い市民意識

「岡山市は協働の意識  
が低く、他自治体に比べ  
て10年遅れている」。市  
内のNPO法人役員は指  
直す形で検討に入った。  
摘する。NPO法人など  
と連携したまちづくりを  
進める上で、基本理念を  
示した「指針」が存在し  
ないからだ。  
市は01年、協働のまち  
づくり条例を施行した  
のうち「ボランティア・  
NPO・市民活動の推進」  
は下から4番目だった。

吉備国際大特任教授  
（市民社会論）を務める  
NPO代表理事の米良重  
徳氏は「価値観の多様化  
に伴い、社会的な課題は  
年々、複雑多岐になって  
いる。民間の知恵を生か  
すことがより良い行政サ  
ービスの提供につなが  
る」と指摘する。